

国土交通省のヒートアイランド対策

地表面被覆の改善

緑とオープンスペースの機動的確保

緑化施設整備計画認定制度

- 敷地面積1,000㎡以上、緑化率20%以上等の一定基準を満たす建築物の緑化を支援。H17年度末現在17施設を認定。



屋上・壁面緑化空間の創設

- 最近の屋上緑化・壁面緑化空間の創出状況把握のため関係企業等を対象に調査を実施。
- 屋上緑化: 約124ha、壁面緑化: 約4.6ha (平成12~17年合計)

保水性舗装の整備

- 平成17年度より、沿道環境改善事業を拡充し、「路面温度を低下させる舗装の敷設」を追加
- 平成17年度整備状況: 東京23区 6.5km (直轄・補助の合計) 大阪市 2.2km
- 平成18年度整備予定: 東京23区 7.9km (直轄・補助の合計) 大阪市 7.9km

風力+太陽光発電を活用した保水性舗装散水システム

- 国会議事堂周辺に保水性舗装と散水装置を試験的に施工。平成17年8月に路面温度データ採取。
- 晴天の日には、保水性舗装の路面温度が通常舗装に比べ10℃程度低いことを確認。



都市形態の改善

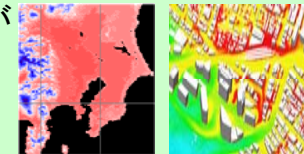


- 平成17年7月、8月に東京臨海部・都心部を中心に数百メートル間隔で気象観測を実施。

観測・調査研究の推進

ヒートアイランド予測モデルの作成

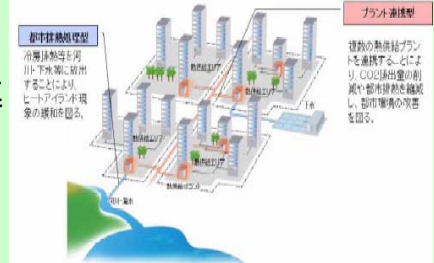
- 地球シミュレータにより都市全域の個別建物や街路等を再現した大規模シミュレーションプログラムを開発。(精度は実測値と比較し1℃以内)
- シミュレーションの実用性が確認できたので、今後は各種ヒートアイランド対策効果の定量化を図る。



人工排熱の低減

エコまちネットワーク整備事業

- 多くの都市開発が予想される都市再生緊急整備地域において、都市開発と一体的に環境負荷の削減対策を行うため、複数の熱供給プラントを連携する施設等に補助する「エコまちネットワーク事業」を推進。



都市のヒートアイランド現象の解消

東京等での関連施策の集中実施

- 地方公共団体等と連携し関連施策を集中的に実施していく。

雪氷輸送物流システムの検討

- 片荷輸送の余力を活用し、冬の北海道の天然冷気で作った雪氷を首都圏で冷房に利用する実証実験を開始(平成18年6月)。10月まで実験を行い330tの雪氷を輸送予定。

